

2023年11月20日 第474号

# 憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター  
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)  
http://www.kyodo-center.jp mail: move@zenroren.gr.jp

総がかり行動実行委員会「19日行動」に1100人

市民への攻撃やめろ！ジェノサイド止めよう！

市民と野党の共闘で岸田政権は退陣に！

総がかり行動実行委員会は11月19日、「パレスチナに平和を！軍拡増税反対！辺野古新基地建設反対！改憲発議反対！11・19国会議員会館前行動」を行い、1100人が参加しました。沖縄の風の高良鉄美参議院議員、日本共産党の岩渕友参議院議員、社民党の福島みずほ参議院議員があいさつ。立憲民主党からメッセージが寄せられ、韓国19日行動からのメッセージが紹介されました。



憲法共同センター共同代表の米山淳子新婦人会長が主催者あいさつ。「ガザでは1万2000人を超える普通の人々が殺されジェノサイドが止まらない。核の使用も懸念されている。岸田首相はアメリカの顔色をうかがい国際法違反と言えない。憲法9条を持ち、唯一の戦争被爆国である日本の首相の資格はない」と批判。「副大臣・政務官の不祥事が相次いでおり、岸田政権の支持率が最低を更新し続けている。市民と野党の共闘で政治を変えよう」と呼びかけました。

市民連合フェミブリッジアクションの西山千恵子さんは、「この取り組みは、市民と野党の女性たちの運動を架け橋のようにつなげていこうというもので、第2弾を行っている。衆議院の9割が男性議員で男性目線の政治がすすめられている中、各地でフェミブリッジ運動を起こしてほしい」と訴えました。

作家の新土さんは、「8月までパレスチナにいた。彼らは自分たちのふるさとを残すためにたたかっている。急に始まったわけではなくジェノサイドは75年間続いており、構造的植民地だ。いのちをかけてたたかっている人たちのために力を貸してほしい」と訴えました。

総がかり行動実行委員会の藤本泰成共同代表が行動提起を行いました。

パレスチナに平和を！新宿デモに1500人

「パレスチナに平和を実行委員会」と総がかり行動実行委員会は11月19日夜、パレスチナの平和と即時停戦を求め、新宿駅東口アルタ前広場で集会を行い、その後デモ行進を行い1500人が参加しました。

